

ふるさと 通信員だより

vol.197

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



新通12丁目の鹿野内悟さん(82)が、木工で手作りしたS1が近所で評判です。廃材や端材を利用して設計から裁断、組み立てまで全てが手作りです。蒸気機関車(高さ40センチ、長さ80センチ)に貨物車4台を連ねたD51は、全長5メートルの大作です。動輪、煙突、運転室、鐘など数え切れない程のパーツが精巧に作成されていて、精密でありながら重量感にあふれる仕上がりに驚きです。夏場に花を乗せて主連棒が力強く動輪を回し、白い蒸気をあげて今にも走り出しそうにしている情景が目に見えます。トラクターやタイヤショベルなども作成しました。「次の目標はかやぶきの家作りをと鹿野内さんの温もりある作品づくりはまだまだ続きそうです。」



たかだ てつこ 通信員
高田 徹子

ミニS1や
トラクターを作成



西中音更小学校(山本裕之校長・児童数21人)の3、4年生5人は総合的な学習の時間の中でビートを育てました。座学と合わせ食育講座を実施する「いただきますカンパニー」の岡野香子さんを講師に招き、収穫したビートで「ビートチップス」を作りました。今回の試みは山本校長が、以前市販されていたビートチップスを食べて、「ぜひ子どもたちにも食べて欲しい」という願いから実現した取り組みでした。子どもたちは出来上がったビートチップスを食べて、口々に「甘くておいしかった」と笑顔で話してくれました。



いしだ ひさよ 通信員
石田 尚世

斬新!
ビートチップス